

子どもたちの教育を守ろう。学校現場は少ない予算で困っている！

紀の川市の学校教育費で、子どもたちの教育に直接関係する予算を分析してみました。

小学校
学校
管理費

年度	平成18	19	20	21	22	23	24	24-18年	
需用費	26,827	26,171	25,897	27,607	26,610	27,748	27,069	+242	
おもな内訳	消耗品費	6,088	5,746	5,590	5,803	5,573	5,710	5,382	-706
	燃料費	572	743	510	582	802	958	995	+423
	印刷製本費	696	682	632	295	397	330	261	-435
	施設・器具修繕費	4,934	4,920	4,129	6,070	4,609	4,729	4,071	-863
生徒数(人)	4,152	4,032	3,972	3,802	3,684	3,502	3,375	-777	

数字は、
生徒1人
あたりの
金額(年)

中学校
学校
管理費

年度	平成18	19	20	21	22	23	24	24-18年	
需用費	23,468	23,488	23,625	23,911	22,415	23,737	23,488	+20	
おもな内訳	消耗品費	6,891	6,427	6,307	6,167	6,156	6,497	5,969	-922
	燃料費	555	1,283	1,525	1,531	1,631	1,617	1,754	+1,199
	印刷製本費	700	534	499	306	237	319	251	-449
	施設・器具修繕費	10,967	11,320	11,721	4,141	2,381	2,818	12,622	+1,655
生徒数(人)	2,177	2,172	2,109	2,065	1,984	1,948	1,843	-334	

表の結果から、児童・生徒1人あたりの需要費に大きな変化はありません。しかし内訳で見ると、燃料費の高騰した分は、消耗品費、印刷製本費、施設・器具修繕費を減額しています。つまり、児童・生徒の授業に直接かかわる経費に影響が出ています。

学校現場からの意見を聞きましたが、そのことがよくわかります。

■ 学校現場からの意見

◇ コピー用紙が不足、◇ コピーはA3用紙で行い、A4にカットして、コピー回数を減らしています。◇ カラーコピー印刷は原則禁止。◇ コピーは使用済み用紙の裏側白紙面にコピーし、表面は×を入れて使っている。◇ プールの消毒剤が買えないので、プールの使用期間を短くしては」と話が出された。◇ 理科実験用の薬剤が古くて使えない。購入してもらえない。◇ 理科実験で「デンジロウ先生」の楽しい実験をしたくても、材料を購入してもらえない、などです。

需要費以外でも予算を削られたり、認められないこととして中体連の大会参加の費用が少なく、主催地が宿泊先を割りあてるため、高い宿泊料金で不足分は保護者負担。画用紙、工作材料、テストの経費、花壇の植え替え・手入れの経費は、



保護者負担等々があります。

日本共産党市議団は、9月議会の一般質問や決算委員会でも、教育予算が少なくなっていることを取りあげ、改善するように求めてまいりました。

義務教育は、無償の理念を持ち、公費負担の枠を広げるとともに、就学援助の拡大、保護者負担の軽減を図り、未来を担う子どもたちが心から喜び、学ぶ環境づくりをするための財政力は十分にあることを指摘し、現場の意見を良く聞き、早急に改善するよう強く求めました。

私は今期で市議会議員を引退しますが、後任の中村まきさんも、紀の川市の教育行政を改善したいと強く語っています。みなさまの大きな支援で、中村まきさんを市議会に送り、子どもたちの教育を守るためにも、よろしくお願ひします。

吉田隆三郎 市議



紀の川市は、すぐに使える積立金が100億円余あり、さらに一般会計の内、市民の税金で返済すべき借金は80億円弱です。日本共産党市議団は、この間消耗品費、印刷製本費など削減してきた教育費を元に戻し、学校教育の充実と保護者負担の軽減を求めています。これらは、わずかな金額でできること。市の姿勢が問われています。

金剛山ハイキング

10月12日、小学二年生の孫と二人で金剛山に登った。国道309号線の水越トンネルの大阪側の入り口のすぐ下、旧峠道への分岐点にトイレがある。その付近に車が数台駐車できる。トイレの裏から登山道は始まる。適度な段差の階段道が続く、歩きやすい道だ。頂上までの標高差はけっこうある。600m以上は間違いないが、効率よく高度をかせげるのでつらさを感じないルートだ。樹林の中をひたすら登っていく。セトという地点ちかくからは尾根道になる。三国城跡の広場に近づくと少しアップダウンがあるが、基本的には登りばかりの道だ。終点近くになると、白い穂のサラシナショウマや濃いピンクのツリフネソウなどの花が出迎えてくれる。三国城跡広場を過ぎて天法輪寺境内の食堂で、いつものようにカップヌードルを食べた。

下りは往路に戻る。登りに2時間半、下りに1時間半、計4時間の山行だった。孫はしっかり歩いて、途中弱音もはかず、どんどん成長しているあかしを見せてくれた。下りきったところに最近できた茶店で、二人でかき氷を食べた。茶店のご主人夫婦も山好きで、百名山にも半分登っているとか。ちなみに茶店の名前は「さわんど」で、上高地の入り口の地名だ。

松岡 登

※ No.8は誤記があったため、No.9と合併で発行します。



北極星

発行連絡先

0736-22-7573

日本共産党紀の川市委員会



No. 8 (紀北地区委員会内)